

# 日野・生活者 ネットワークニュース

No.160

2020年10月20日発行

発行/日野・生活者ネットワーク 発行責任者/出沼恵美子  
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4F  
URL <http://hino.seikatsusha.me/>



## DV被害者のよりどころ

### 民間シェルターが閉鎖

20年で約1000人を支援

今年の3月末で、「多摩でDVを考える会」のシェルターとステップハウスが閉鎖されました。20年間にわたり1,000名近いDV被害者とその子ども達を保護し、自立を支援してきた、元日野市男女平等課長でもある土方聖子(きよこ)さんに、お話を伺いました。

### 民間シェルターを 自分たちの手で

DV防止法(2001年)もまだないころ、夫からの暴力の相談が相次ぐ中、土方さんは近隣の女性の施設担当者とともに東京都に支援策を求めました。しかし動きは鈍く、業を煮やした土方さんは、「ならば自分たちでシェルターを作ろう!」と話し合い、市民に寄付を呼びかけ、その寄付金を元に、多摩地域で2ヶ所のシェルター、その後3ヶ所のステップハウスを開設しました。

運営にはお金がかかります。シェルター1カ所でも最低でも年間200万円は必要です。自治体を回り支援を求めた結果、最終的には16の自治体から年間計310万円の補助金を得ましたが、支えるスタッフは完全に無償ボランティア。それどころか、年金までも運営費につぎこまれていたといいます。

### その志を 受け継いでいくために

公設シェルターは条件が厳しく、そこには入れない、入りたくない人の受け皿を民間シェルターは担ってきました。保護が入ると、携帯電話を握りし

め、眠れない日々が続いたといいます。

目の前にいる当事者を救いたいという気持ちで続けてきましたが、メンバーも高齢化し、財政的にも厳しいことから、一定の役割は果たしたとして閉鎖を決めました。これからは婦人保護事業ではなく、女性の自立支援という枠組みで公的な支援の拡充に、土方さんは期待を寄せています。

日野市の女性施策が私たちの調査で評価が高いのは、このような活動が息づいているからだと感じました。

民間シェルターが継続できるためにはどのような支援や仕組みが必要だったか、その検証は必要です。その上で、今後は多摩地域自治体の新しい連携の形で、被害者の更なる自立支援を、そして暴力そのものをなくしていくべく、私たちも取り組んでまいります。

#### 日野市の女性相談

予約制

☎ 042-587-8177

DV相談+人

内閣府DV相談+(プラス)

☎ 0120-279-889

24時間対応



詳細は  
こちらから▶

#### まちづくりの主役たち

### 猫たちのシェルター開設10年 「保護猫広場ラブとハッピー」

ここは飼い主のいない猫を捕獲し、不妊去勢手術やワクチン接種を行い、里親をみつける活動やシェルター機能を担っています。現在は親猫60匹、子猫15匹を保護しています。



猫を殺処分から助けたい、との思いで立ち上げたのが10年前。運営は、ボランティアの方が手伝っていますが、主宰の酒井さんはここ数年

全く休めない状態だそうです。また、家賃や光熱費など支出が重く、経済的にも肉体的にも、想いだけで続けるには、困難なのが現状です。

公的な機関がシェルター活動を担うようになってくれればよいのに、と酒井さん。これからは東京都や自治体の連携と支援、動物との共生を地域の課題として取り組んでいく、市民の意識の変化が必要ではないでしょうか。



### 新可燃ごみ処理施設から水銀が検出!

6月と7月の2回、基準値を超える水銀が検出されました。浅川清流環境組合からは一時的なもので、健康や環境に害はないとの報告ですが、周辺住民の方々からは不安の声もあがっています。

現在、周辺自治会と公害防止協定(仮)の締結に向けて協議が行われています。運営にあたっては、徹底した情報公開と丁寧な説明を求めています。



水銀を含む体温計や電池等は有害ごみ!

### 助け合いでコロナ禍をともに乗り切ろう!

#### ●日野市コロナ対策寄付金

日野ネットも要望していた専用口座が開設されました。

三菱UFJ銀行 日野市役所支店 普通口座0460902

☎ 企画経営課 514-8047

#### ●日野市フードパントリー事業

ご家庭にある未開封の食品をお寄せください。

☎ フードバンクTAMA

フードパントリー事務局 070-3845-0026

詳細は  
こちらから▶

